

4 理教在所生の情報機器利用の現状と自己概念／情報処理訓練が参加者の自己概念に与える影響／「センター利用の手引き」DAISY ファイルの簡易作成方法

研究所障害福祉研究部 北村弥生、研究所 河村宏
理療教育部 舘田美保、国立塩原視力障害センター 小林好彦、秋山仁、森定真
更生訓練所 森公士朗、岩谷力、沖縄県立看護大学 上田礼子

I. 理教在所生の情報機器利用の現状と自己概念（国リハ群と塩原群の比較）：平成 17 年度に国リハ理教部在所生の情報機器利用の現状と自己概念を調査した結果が国リハに特有か否かを明らかにするために、国立塩原視力障害センターで課外の情報技術訓練に参加した理教 1、2 年生男性 11 名（以下、塩原群）において同様の調査をした結果、1）塩原群のパソコン所有率はじめ情報機器利用率は塩原群の方が国リハよりも高率であること、2）塩原群の自己概念も国リハと同様に对照群に比べ低いこと、3）国リハと同様に塩原群でも、単身者では同居者がある者に比べ、自己概念 11 領域中 4 領域で有意に低いことが明らかになった。また、塩原群は家族と同居者が 71.8%で国リハ 55.6%よりも多いにも関わらず、パソコンの設定を家族に依頼する者は国リハ 22.2%よりも塩原群 9.1%で低く、塩原群ではパソコンと業者を利用する者はなかった。すなわち、地方ではパソコンや業者から支援を得ることは難しく、公的な支援や家族への研修あるいはパソコンの整備が必要なことが示唆された。

II. 情報処理課外訓練による自己概念の変化：塩原群に対して行われた情報処理の課外訓練（15 時間）の前後における自己概念の変化を調査した結果、11 名中自己概念 11 領域の合計点に差が見られた者は 3 名であった。上昇した 1 名では「道徳」「自己価値」「社会性」「運動」「容姿」の得点が上昇し 1 か月後にもよい技術定着が認められた。一方、低下した 2 名のうち 1 名では事後調査の結果と訓練 2 か月後の結果とが一致したことから、事前調査の結果は表面的に良く見せようとしたためであったと考えられた。

III. DAISY ファイルの簡易作成方法：DAISY(Digital Accessible Information System)は、欧米では視覚障害者よりも発達障害者に多く活用されている。しかし、国リハ理教部では教科書として在所生の 7 割に活用されているが、他の部署ではあまり利用されていない。近年、Microsoft 社のワープロソフト Word で作成した文書ファイルを DAISY フォーマットに変換するソフト（Dolphin 社、Easy Producer）が開発され、DAISY 文書の作成が容易になった。スキャナ入力した文書の DAISY 変換にも利用できる。そこで、平成 19 年度から DAISY 版を作成している「センター利用の手引き」を、このソフトを使って簡便に DAISY 化できる方法を確認し、DAISY 図書作成と配付方法のマニュアルを作成した。作成音声も配付可能なスクリーンリーダーソフト(クリエートシステム開発社、Document Talker)の辞書登録および文書作成に必要な工夫が抽出され、事務文書、教材などの簡便な DAISY 化にも広く活用することが期待される。